

長野県信濃町の地域活性化企画 I ~ III

プログラム概要	: 長野県信濃町における地域活性化を考える。
実習先	: 長野県信濃町
実習先情報	: 信濃町は長野県の北端に位置する、美しい山並みに囲まれた町です。毎年基礎FS、発展FSの学生が活動しています。
参加人数	: 13名
学部学科	: 政治学科、人間科学科、グローバルビジネス学科、データサイエンス学科、会計ガバナンス学科、経営学科、日本語コミュニケーション学科、法律学科
実習期間	: 令和4年8月12日~9月21日の間で6日間
本学担当教員	: 内藤文隆(客員教授)

○はじめに

私たち信濃町地域創生プロジェクトのメンバーは人口減少という大きな問題の中で、いかにして長野県上水内郡信濃町を活性化することで多くの観光客、移住者に来てもらえるかを日々検討しています。

○実習内容

長野県上水内郡信濃町にて、現地の住民に信濃町の現状についての聞き込み調査や、町役場や町の施設への質問を行い自分たちのアイデアをブラッシュアップする。また、役場の方に案内していただき町の現状を知る。

○提案したこと、発信したこと、など

信濃町Instagamを用いて官民連携のSNS広告の作成、信濃町の不便なところを逆手に取った広報活動(ex.急な坂に面白い看板を作って不便であるけれど楽しめるようにするなど)や、コミュニティカフェを開設することで、町の連携を高めるとともに、知らない土地に来て困っている移住者の不安解消の場にする。

○経験したこと、学んだこと、など

実習によって自分たちが住んでいる町、自分たちの故郷、自分たちが想像していた信濃町の考えと比較して、どのような違いがあったのか、それが良い印象だったのか悪い印象だったのかを学ぶことができた。私自身、信濃町はもっと田舎町で高齢者が多い町だと思っていたが、観光客や若者が活動するなど、活気があふれている町だと思った。



○今後の展開、今後の学び、など

提案内容を町役場にプレゼンテーションすると共に、2,3年生の学生には来年以降も授業を取得する学生もいるので、既存アイデアの問題や新しく誰もが興味をそそられる面白いアイデアの提案をしていきたい。

○まとめ

信濃町は人口減少などにより過疎化が進んでいるが、私たちのプロジェクトによって少しでも過疎化を止め、観光客、移住者を誘致して、信濃町の発展に貢献していきたいと思う。

○担当教員コメント

既存の社会や常識を越えて新しい社会の構築を目指す自由な発想をする学習の場を学生に自分たちで作りに上げていってもらいたいと思っています。まずは学外での活動を楽しめているようです。

